

これまでの議論の経緯について

1. 協議会設置前

(1) 「暮らしの質」向上検討会

平成26年10月10日すべての女性が輝く社会づくり本部において「すべての女性が輝く政策パッケージ」が決定される。これを受け、女性活躍担当大臣の下、平成27年1月から「暮らしの質」向上検討会での議論が開始。同検討会第一分科会において「トイレ」を中心に議論がなされた。

(2) 女性活躍担当大臣から国土交通大臣への要請

平成27年3月に、女性活躍担当大臣が国土交通大臣を訪問し、国交省所管分野（新幹線や航空機、建設業やトラック業）において、トイレの整備を進めることの検討を要請。

(3) 国交省意見交換会（ヒアリング）

(2)を受けて、国交大臣から、道路、鉄道、航空の3分野の事業者を集めて意見交換会を開くように指示あり。（平成27年3月20日、30日に開催。）

検討会第一分科会で優先的課題とされた項目についてヒアリングを実施。

(4) 「暮らしの質」向上検討会としての提言（平成27年5月）

（提言のポイント）

○空間づくりについて

- ・女性が暮らしやすくなる空間への転換の「象徴」としてトイレを取り上げる
- ・快適なトイレを増やすための各般の取組を実施すべき

2. 協議会設置以降

(1) 第1回協議会（平成27年6月12日）

国交省意見交換会、「暮らしの質」向上検討会提言を踏まえ本協議会を設置。

同日、会議を開催し、検討項目について、検討会第一分科会で優先的課題とされた項目をベースに、「女性の活躍が期待される分野のトイレの充実」及び「観光地におけるトイレの充実」を追加することとなる。

(2) 第1回WG（平成27年11月16日）

(1)での意見を踏まえた「検討項目（案）（平成27年11月16日時点）」（参考資料1）を提示。

また、取組の方向性について、「金額」及び「空間」の制約ごとに分類して取りまとめるべきとの意見が出される。

(3) 第2回WG（平成28年3月1日）

国交省意見交換会及び第1回WGのヒアリング結果を「金額」「空間」の視点でまとめた取組の方向性（案）を提示（参考資料2）。

次回はWGではなく第2回トイレ等協議会を開催し取りまとめ骨子案を示すこととなった。

(4) アンケート調査の実施（H28.12.15～22、23）

「日常でよく利用するトイレに関するアンケート調査」及び「子ども連れで外出する際の授乳または調乳スペース、おむつ替えスペースの利用等に関するアンケート調査」を実施